

成人気管支喘息 文献

論文名	調査地域	調査時期	対象 (年齢)	有症率/有病率	調査 方法	自治 体 報告	診断方法	依頼数	回収率 (数)	有効回答率 (数)
北海道上士幌町における成人喘息、アレルギー性鼻炎有病率の検討 2006年、2011年の比較	北海道	2011年	20～81歳	男 10.7% 女 8.3%	配票	—	ECRHS	1500人	98.1%	
思春期におけるアレルギー疾患に関する実態調査	大阪	2011年	大学新入生	9.9% (有病率)		—	その他の調査票			(3316人)
Prevalence of asthma with airflow limitation, COPD, and COPD with variable airflow limitation in older subjects in a general Japanese population: the Hisayama Study	福岡	2008年	40歳以上	2.0% (有病率)	集団	—	その他		43.4%	
北海道上士幌町における成人喘息、アレルギー性鼻炎有病率 特に喫煙及び肥満との関連について	北海道	2006年	18～81歳	男 12.9% 女 9.8%	配票	—	ECRHS	3231人	95.8%	
Time trend in the prevalence of adult asthma in Japan: findings from population-based surveys in Fujiyama City in 1985, 1999, and 2006	静岡	2006年	15歳以上	7.2%	郵送	—	ECRHS	3935人	68.9%	
Nationwide cross-sectional population-based study on the prevalences of asthma and asthma symptoms among Japanese adults	全国	2006年	20～79歳	10.1%	配票もしくは郵送	—	ECRHS	33277人		70.6%
Breastfeeding and prevalence of allergic diseases in Japanese university students	東京	2003-2005年	大学新入生	9.3%	集団	—	その他の調査票		99.7～100%	
大阪地区における成人女性の季節性アレルギー性鼻炎、気管支喘息及びアトピー性皮膚炎の出現頻度について	大阪	2002年	病院職員	3.6% (有病率)	集団	—	その他の調査票	589人	88.6%	

て

成人気管支喘息の疫学調査 静岡県藤枝市における喘息有症率の経年的 変動に関する検討	静岡県	1999年	15歳以上	1.5% (有病率)	配票	—	その他の調査票 と ATS-DLD	4187人	91.5%
体育学部新入生の喘息有症率に関する 検討	東京	1999～2002 年	大学新入生	(有病率) 1999年 4.5% 2000年 6.7% 2001年 4.6% 2002年 5.9%	集団	—	その他の調査票		
静岡県藤枝市における成人気管支喘 息の有症率調査	静岡県	1985年	15歳以上	3.1% (有病率)	配票	—	その他の調査票	12562人	96.7%
沖縄地方の気管支喘息 農漁村6地区 における発生頻度調査	沖縄	1983年	20歳以上	2.2%	集団	—	その他の調査票		